

平成29年度 施策評価表

課・グループ名	住民課環境交通グループ
---------	-------------

作成年月日：平成30年9月26日

施策名	5－（3）－④ 防犯対策の推進		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(3) 安全、安心な生活を支える防災・防犯対策の推進	④防犯対策の推進
①施策のねらいと展開方向	● 継続的に防犯意識の向上を図るとともに、地域住民・教育関係各機関・南幌町生活安全推進協議会・栗山警察署が連携して防犯対策の強化に努め、「安全で安心なまちづくり」を推進します。		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	● 南幌町生活安全条例に基づき設置している南幌町生活安全推進協議会と栗山警察署、関係団体と連携及び情報交換を行い安全で住みよい地域社会に向け防犯対策に取り組んでいます。	● 多様化する街頭犯罪に対する情報発信、啓発活動を継続して実施しますが、高齢者を狙った特殊詐欺の被害を未然に防ぐため関係機関と連携し防犯対策を強化する必要があります。	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名		数値化	
	安全、安心な生活を支える防犯対策の推進状況を示す指標として町内犯罪数を設定し、多様化する特殊詐欺を未然に防ぐため、栗山警察署と連携し、町民や事業者への情報発信、防犯パトロールを継続実施する。			成果指標 (総合計画・施策評価)		可 能	
						不 可 能	
				代替指標 ※成果指標がない場合		未計測	
				町内犯罪数		○ 可 能 不 可 能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標					36	前年度犯罪数	
実 績					39		
達成率	%				92.3		39件の刑法犯のうち、窃盗犯が28件と最も多かった。
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	・多様化する特殊詐欺を未然に防ぐため、栗山警察署と連携し、町民や事業者への情報発信、防犯パトロールを継続して行う。 ・町民の安全意識の高揚と自主的防犯活動の推進を図る。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)		事業費(千円)	
					目標	単位						H29実績	H30予算
					1	防犯対策推進事業					(1)	住民課	町内犯罪数 ※前年度犯罪数を目標値とする
				39	件								

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H29事業費	5,409
H30予算	5,416

②H30に実施した新規事務事業				
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	・防犯カメラの設置を計画的に行っている。 ・各町内会・行政区、工業団地企業協議会の適正かつ効果的な防犯灯の配置・維持管理により街頭犯罪や交通事故の防止につながっている。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	A

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成30年度以降 の予算の方向性	
			A						
			B						拡大
			C	1					○ 維持
			D						縮小